

浸水・逆流を未然に防ぐ!!

スタンドタイプの水のう袋

年々増加している豪雨被害、台風やゲリラ豪雨など自然災害への備えに!!

ココがおすすめポイント!

水を入れてつくるので、簡単・便利!
後始末も水を抜くだけ!

1袋に25Lの水で、25kgの水のうに!
連結すればかなりの重さになります。

マンションで問題となった排水口の
逆流も排水口に置くだけ!

設置場所を選ばない!
土のうではないので汚れない!

付属のシートと水のうのダブルで
水の侵入を防ぐ!

付属品の結束バンドで水のうを連結し、
水流をシャットアウト!

浸水・逆流を未然に防ぐ!!

スタンドタイプの水のう袋

安心な日本製

特許登録済

浸水を遅らせる

簡単!!!水があればOK!!!
後始末は水を抜くだけ!!!
しかも、汚れない!!!

玄関ドア

逆流の防止対策

侵入と逆流を防ぐ!!!
本品を横にして排水口にかぶせるだけ!!



汚泥の軽減など

設置場所を選ばない!!!
横・後ろに連結可能!!
長さとお行きは自由自在!!



容量25ℓ/5袋入りセット



裏面を必ず読んでからご使用ください

スタンドタイプの水のう袋

| | |
|---|--------|
| | 規格 |
| | 5枚入 |
| | 重量(単品) |
| | 0.8kg |
| | 入数 |
| | 15 |
| 商品案内 | |
| <p>水を入れるだけで簡単・便利。雨水の侵入と排水口からの排水逆流防止など、水害の対策に画期的な商品です。連結も可能なので幅広く使用できます。</p> | |

使用シーン一覧 (一般住宅から会社・倉庫・店舗など)

玄関回り・勝手口・床下の空気口



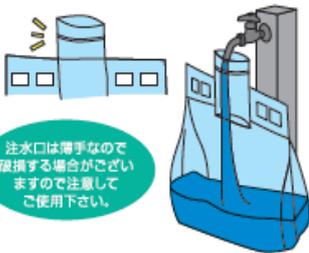
お店の自動ドア・店舗のドア
倉庫やガレージのシャッターのドア周り



使用方法①【水のう袋としての設置】

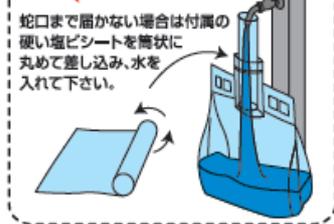
- 玄関ドア・床下の空気口・コンビニ、スーパーの自動ドア
- 倉庫、事務所のシャッター・地下の出入り口etc…
- 10袋で3mが目安

1 チャックを開け蛇口に差し込み水を1/3程度入れる。



注水口は滑りやすいので
破損する場合がございますので注意して
ご使用下さい。

ONE POINT!



蛇口まで届かない場合は付属の
硬い塩ビシートを筒状に
丸めて差し込み、水を入
れて下さい。

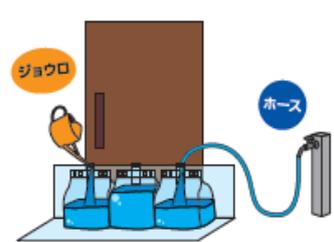
2 設置したい場所にセット内のシートを敷き、
その上に水のう袋を置いていきます。

ONE POINT!

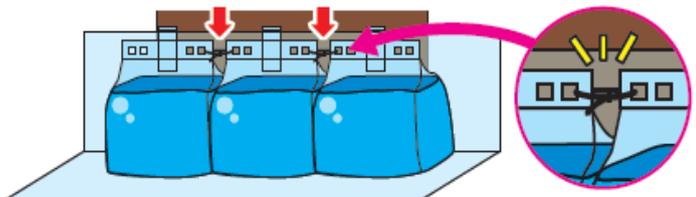
ドア横の壁にもかぶるように設置
するとGOOD!

※設置後ドアから入れなくなるので感から入れるように
しておいて下さい。
※内部からの設置も可能です。

3 1/3程度水を入れた水のう袋に更に
ホースやジョウロで水を全体の8~9
割程度まで入れていきます。

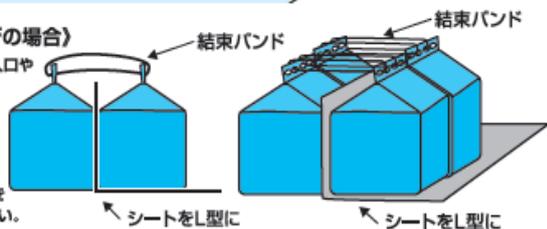


4 セット内の結束バンドで水のう袋の持ち手の外穴同士でしっかりと繋げば完了です。



5 (2列並びの場合)

2列並びは、地下入り口や
土地の低い場所
(後ろに支えが
ない場所)に
設置します。
2列並びの場合
には、結束バンドを
別途ご用意ください。



6 水量が多い場合は2段積みも可能です。

使用方法②【貯水袋としての使用】

【貯水袋として】

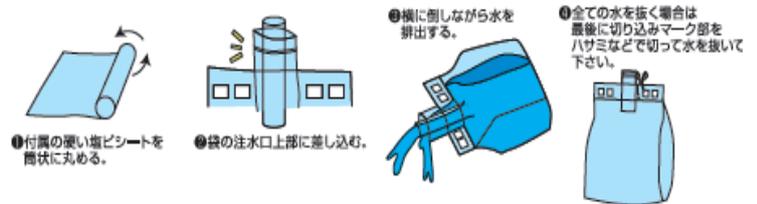
- 飲料水としてのキッチンでの使用。 ●増水の際、逆流の恐れがある場合での使用(便器や浴槽の排水口)。
- キャンプなどのアウトドアでの野外貯水袋として。

◆使用方法◆

- ①給水車、又は水道から注入の際は、セット内の塩ビシートを丸め注入口に差し込み水を注入します。
- ②排水の際は、流し台などの場所で塩ビシートを丸め、注入口に差し込みでできる限り傾けて水を出して下さい。

※貯水袋としては1回限りの使用とし、以後は水のう袋としてご使用下さい。

水を排出する場合



①付属の硬い塩ビシートを筒状に丸める。

②袋の注水口上部に差し込む。

●横に倒しながら水を排出する。

③全ての水を抜く場合は最後に切り込みマーク部をハサミなどで切って水を抜いて下さい。

★水のう袋で使用する場合は繰り返し使うことができます。

*全面をよく洗い乾いたら直射日光を避 (再利用する場合、飲料用の水を入れる) けた場所で保管すれば再利用が可能です。(貯水袋として使用するのをお止め下さい)

- 災害時の水の深さが2/3位まではしっかりと効果を発揮します。(筒内の水の深さより上に来た場合、浸されてしまう可能性があります。予めご了承下さい。)
- 設置時は建物とポリシートと水のう袋に隙間ができないように設置して下さい。
- チャック付きの注水口部をもって、引き上げたり、引っ張ったりすると切れてしまいます。持ち上げる際は穴の隣いた取っ手の持ち上げをお願いします。

保管場所と保管期間

- ・防災Wはポリエチレン製品ですので、直射日光を避け紫外線の当たらない場所で保管して下さい。
- ・長期保管をしますと劣化が進みますので5年をめぐりに交換をお願いします。

警告

- この袋は幼児や子供の手の届くところに置かないで下さい。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ窒息する恐れがあります。

注意

- 注水口はチューブが滑りやすいため伸びたり切れたりする恐れがあります。
- 水量が15~20cm以上の場合水のう袋として効果を発揮せずに流れてしまう場合があります。
- 給水袋としてご使用の場合は1回限りの使用とし、以後は水のう袋としてご使用下さい。
- 製品の説明書に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合は、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 直射日光に当たると商品が劣化しますので、紫外線の当たらない場所での保管をお願いします。
- 貯水としてお使いの場合は、セット内のPEシートを敷いて使うと水濡れを防げます。

●最大で25kg程度の重量になりますので、投げたり、落としたりすると強い衝撃で破損する場合があります。取り扱いには注意して下さい。